

平成 24 年度 第 7 回

日南市教育委員会

会議録

平成 24 年 9 月 28 日(金)、午前 10 時 00 分から
日南市役所・南別館 2 階会議室

- 1 会議の名称 平成 24 年度教育委員会 第 7 回会議（定例）
- 2 会議日時 平成 24 年 9 月 28 日(金)、
午前 10 時 00 分から午前 12 時まで
- 3 出欠確認
(1) 出席委員 迫元茂保 藤田義弘 八木真紀子
松野蓮香 安野喜宏

欠席委員 無し

(2) 事務局 教育次長 村角昌宏
学校教育課長 水元洋一
学校教育課教育専門対策監 河野好宏
学校教育課長補佐兼管理係長 中川貴登
文化生涯学習課長 岡本武憲
スポーツ推進課長 橋本寛敏
- 4 場所 日南市役所・南別館 2 階会議室
- 5 開会
【迫元委員長】
「こんにちは、
ただいまから平成 24 年度第 7 回教育委員会・定例会を開会いたします。
よろしく申し上げます。」
- 6 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】
「会次第 2 番、出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 5 名、
全委員出席です。(傍聴者なし)」
【村角教育次長】
「本日は、全員出席となっております。」

7 教育委員長活動報告

(1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

教育委員会委員長活動報告をいたします。一覧表にあるような会議等に出席しております。主なものについて、御説明いたします。

- ① 8月31日と9月4日、市共同募金委員会審査会のヒアリングを行いました。助成申請団体の内容及び用途等についてヒアリングを実施しました。9月4日も同様に実施いたしました。
- ② 9月5日、市共同募金会審査委員会事務局会議に出席いたしました。助成団体の申請内容やヒアリングの結果をもとに、助成額の原案づくりをいたしました。申請団体が、21団体有り、社会福祉協議会と併せて、約400万円の予算配分を行いました。
- ③ 9月10日、平成24年第4回市議会9月定例会の本会議に出席いたしました。午前10時から開会され、会期決定の件、報告第9号及び第10号の一括上程、認定第1号から議案第60号まで一括上程、平成23年度日南市基金運用状況報告、議案第61号から第70号までの一括上程、一般質問通告書提出期限の告知がありました。
- ④ 9月11日、同じく本会議に出席いたしました。議案に対する質疑及び委員会への付託がありました。
- ⑤ 9月14日、市共同募金会第2回審査委員会が行われ、参加しました。内容は、事務局会議で数回検討してきた原案をもとに、協議を行い、本年度の審査委員会としての助成金額を決定いたしました。
- ⑥ 9月20日、一般質問の第1日目です。坂元議員、深川議員、小玉議員、岩永議員の質問がありました。教育委員会関係では、日南高校の新コースの設置について、いじめ問題について、不登校問題について、先生と生徒、及び先生と保護者のトラブルや事故について、挨拶運動について、小中一貫教育について、奨学金の滞納状況について、学校における労働法について、障害児のサポート体制について質問がありました。
- ⑦ 9月21日、一般質問の第2日目です。川口議員、黒部議員、和足議員、井福議員の質問がありました。教育委員会関係では、難聴者の実態について、R-1乳酸菌ヨーグルトの普及について、消費者教育について、学校給食について、就学援助についての質問がありました。
- ⑧ 9月23日、東郷小学校、酒谷小・中学校の運動会に参加しました。前日の雨のため、グラウンドのコンディションは余り良くなありませんでしたが、両校とも子ども達が元気よく演技や応援をしていました。酒谷小中学校は定刻の開始、東

郷小は1時間遅れで開始でした。

- ⑨ 9月24日、一般質問の第3日目、教育委員会関係では、旧飯田医院について、南郷小中学校のプールについて、旧潮・鶴戸小学校の利活用について、貧困率調査について、いじめと不登校について、教育相談センターの機能について、学力テストについての質問がありました。

(ア)再質問で、教育委員会の在り方について問われました。開かれた教育委員会にして欲しい旨の質問でした。

- ⑩ 9月25日、一般質問の第4日目です。安竹議員、甲斐議員、井上議員、磯江議員の質問がありました。子どもの環境について、いじめについて、歴史教科書選定についての質問がありました。

(ア)再質問で、前日同様教育委員会の在り方について質問がありました。民意を生かして欲しい旨の質問でした。今程、教育委員会について関心が高まっているときはないと思います。しかし、その中身に付いてはほとんど理解されていないのが現状です。不要論さえ出ております。

(イ)二人の再質問に答弁しながら、今後の教育委員会の在り方についても改革をしていかなければいけないと感じました。例えば、開かれた教育委員会の一つとして、傍聴についてホームページ等で紹介し、周知を図っていかなければいけないこと、市民の声を聴く機会を作ること、自己研鑽に励むことです。

(ウ)詳しい内容については、報告があると思いますので簡単に報告いたしました。

- ⑪ 9月28日、第7回教育委員会

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【安野教育長】

- ① 8月30日、満丸宮崎大学院客員教授が来南。吾田小学校において院生の授業協力による学力向上への申し出がありました。今後、詳細が決定されていく予定です。
- ② 8月31日、日南市フェニックスプラン事業として、教職員を対象に京都女子大学 井上教授を講師に招いて、研修を実施しました。
- ③ 9月3日、商工会議所女性部より100枚の防災ずきん贈呈がありました。
- ④ 9月7日、細田中学校の支援訪問を実施しました。施設整備等の要望を聞いております。

文化生涯学習課の文化遺産活用実行委員会に参加しました。事業計画について審議を行い事務局の提案が承認されました。

- ⑤ 9月10日、9月定例会市議会が開催されました。一般質問では16議員のうち13議員より教育関係の質問がありました。いじめ問題については5件の質問でした。

教育に関する多くの質問があり、教育への関心の高まりを感じ、大変良いことだと思いました。

- ⑥ 9月22日、2012第1回日南オープン卓球大会が開催されました。スポ推進課で対応しました。参加者は、九州はもとより東京からもあり、総勢約600名の参加がありました。スポーツ底辺の拡大、競技力向上、さらには宿泊型の大会と地域活性化においても効果のある大会でした。

鵜戸小中学校の運動会に参加しました。地域ぐるみの運動会で小規模校の良さを感じました。

- ⑦ 9月27日、校長会に参加しました。いじめ問題、法令順守、市議会について講話を行いました。

県数学研究会会長が来南されました。来年度の大会開催地が南那珂になっているため、挨拶に来られました。

- ⑧ 昨日から10日間、オーストラリアのアルバニー市から子どもたちがホームステイに来南されました。歓迎会に出席。滞在期間中は日本文化触れ、交流を深められる計画が予定されています。

以上、活動報告を終わります。

8 議題について

議題1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(事務局提
案 河野)

4月に開設された日南市教育支援センターの取組み概要について事務局より説明

日南市教育支援センターについて(本年4月に開設)

1 **目的** いじめ問題の解決 不登校ゼロを目標にしています。

2 **特徴** サポートチームを結成し取り組んでいます。

3 **役割** 早期発見、早期支援 重症に陥る前に対策を講じる。

そのために問題を抱える子供たちを分析、実態を把握し支援計画を作成しています。

4 サポートチーム体制

(1) 適応指導アドバイザー・・・センター運営全般においてアドバイスをを行う。

(2) 適応指導教室の指導員・・・学校復帰にむけて不登校生の支援

(3) 学校教育指導員・・・巡回相談員指導員との連携・指導 1名

(4) 巡回相談指導員・・・2名

(5) スクールアシスタント・・・不登校生徒サポート、保護者相談、中学校に2名

(6) ネットワークチーム・・・関係機関の代表。学校だけで対応できない場合に協力連携を図ります。

(資料5ページ参照)

5 いじめの把握については次のとおりです

(1) 各学校のいじめ不登校対策委員会から教育委員会へ月1回の報告を実施しています。

(2) 教育委員会の学校訪問での聞き取りを実施しています。

(3) サポートチームとの連携、いじめが発見された場合は、安全確保、心のケア、加害者への個別指導、再発防止に取り組めます。

(4) いじめ110番の設置・・・子どもたちが気軽に電話相談できる体制を設けています。受付は支援センターとなっています。

6 サポートチームの具体的な取組み

レベル1 学校でのサポート、保護者の環境整備、自尊感情を高める指導

レベル2 事例無し 週1回の適応指導教室でのサポート

レベル3 事例無し 適宜、学校と適応指導教室でのサポート

	<p>レベル 4 適応指導教室でのサポート 5 名が通っている。学校に復帰することが目的。適応指導教室と学校の環境に差が生じないように心掛けています。</p> <p>レベル 5 適応教室にも通えない事例へのサポート。保護者自身も問題を抱えている場合は、民生員及び関係機関との連携により、対応します。</p> <p>なお、日南市の不登校生は 16 名です。</p>
(委員長)	<p>それでは、御意見、御質問はございませんか。</p>
(事務局)	<p>「ネットワーク会議の開催状況は」</p> <p>「各学期 1 回の年 3 回を開催します。」</p>
(八木委員)	<p>「不登校防止には担任の指導力が大きく関わっておおり、教員への指導・サポートが必要と思います。また、ネットワークメンバーに医療関係者が必要と思います。」</p>
(藤田委員)	<p>「ソーシャルワーカーは市内在住の方ですか。」</p> <p>「担任の指導については、サポートチームの助言により指導力を高めます。スクールカウンセラーは臨床心理士の方に、ソーシャルカウンセラーも資格を持っていらっしゃる市内在住の方をお願いしています。」</p>
(松野委員)	<p>「市内だけでサポートメンバーの人材を確保するのは困難ではありませんか。また、教職員の資質の向上・資質不足を補うためにも、人材育成を進める仕組みが必要ではありませんか。」</p>
(教育長)	<p>「多様な教諭があります。現状において教員の資質向上をさらにサポートする体制をつくるのは困難状況にあります。自己研鑽に努めていただき、校長をはじめ同僚などの指導・サポートで資質向上を図っていきたいと思います。また、国の補助事業等があれば積極的に活用したいと思います。いじめが発生した場合の第三調査者委員会の設置を来年度に向けて検討しています。」</p>
(八木委員)	<p>「教員の相談窓口等があれば、教職員の資質向上等にも効果があるのでは。」</p>
(教育長)	<p>「悩みを抱える先生方の窓口としてコンプライアンス委員会を各学校に設置しております。」</p>

(教育長)

「相談できる風通しの良い学校環境づくりが必要と思います。
基本的には良いサポート体制が出来ているものと思います。」

その他、御質問、御意見はございませんか。
(無し)

報告 1 全国学力調査の速報結果について

事務局より、知識（基礎）の問題、応用力を問う活用する問題について、全国及び県、市の平均正答率を比較し結果概要の説明を行った。

報告 2 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

事務局より、次のとおり経過報告がされた。

- ① 外部学識経験者に宮崎大学教授 河原国男教授に依頼をし、了承をいただく。
- ② 併せて、点検・評価に関する助言をいただく。助言いただいた内容を整理し、次回、点検・評価方法について提案する。

9 その他

(1) 9月行事予定について

別紙参照

(2) 第7回 教育委員会会議（定例）

① 日時 平成24年10月23日(火)、午後3時から

② 場所 市長応接室

(3) 各委員の意見（懸案事項）

(委員長)	① 教育委員会施設の状況を把握するため、現地視察を行って欲しい。 ② 東郷小中学校の開校に向けての準備状況及び学校活性化の取り組みでパブリックコメントを募集しているが、その状況について、今後の教育委員会で取り上げてください。
(教育長)	開かれた教育委員会、特色のある教育委員会を目指して現場に出かけて子どもたちや先生方、保護者等の意見を聞くような取り組みをぜひ、行ってください。

10 閉会